

# 生活単元学習（主たる教科：生活、理科、社会）の 授業実践における言語能力の育成

---

注目!

## 生活単元学習、理科、社会の授業

- 👉 「生活」「理科」「社会」では、児童生徒の日常生活に深く関連する内容（日常生活、自然、社会の仕組み）を扱うため、表現力や思考力、コミュニケーション力を育むことにつながる。

👉 生活、理科、社会では、身近なコミュニティや自然、社会のコミュニティと関わりながら、具体的な体験を通して言葉を学び、使えるようになるための非常に重要な場である。

## 「生活」における言語能力の育成

### ☑身近な事物の名称と特徴を理解する

- ・ 日常生活用品や学校内の場所、地域にある施設など、具体的な名称を実物や写真などと結び付けて習得する。

☑手洗いや着替えの仕方や給食の準備など、生活行動の手順を理解する。

- ステップごとに示すことで、指示理解と自己表現を促す。
- 「まず、石鹼を付ける」「次に、泡立てる」「最後に、水で流す」のように、動作の順序を言語化し、動作と言葉の一致を目指す。

## ☑コミュニケーション力と社会性を育む

- 「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」「貸してください」など、日常生活で必要な挨拶や依頼、感謝、謝罪の言葉を実際の場面で使えるようにする。
- ロールプレイなどを通じて、お店での買い物や地域の人との交流など、具体的な場面を想定したやり取りを体験する。
- 植物を育てたり、飼育活動をしたりする体験的な活動の中で、「水やりする」「餌をあげる」「大きくなった」など、関連する言葉の習得を目指す。

## ☑自分自身の感情や要求を表現する力を育む

- 「嬉しい」「悲しい」「楽しい」「嫌だ」など、自分の感情を言葉で表現できるようにする。
- 絵カードや顔の表情と合わせて指導することで、非言語的な表現から言語への移行を促す。
- 「～したい」「～が欲しい」など、自分の要求を具体的に伝える力を身に付けられるようにする。

# 「理科」における言語能力の育成

## ☑自然現象や物質の名称と特徴の理解

- ・ 「太陽」「月」「星」「雨」「雪」といった自然現象や、「水」「氷」「蒸気」といった物質の状態など、具体的な名称とそれらの特徴（明るい、冷たい、固い）とを言葉で結び付ける。

※実際に触れる、見る、聞くといった五感を使った観察を通じて

## ☑観察・実験の手順を理解する

- ・ 「まず、水を入れる」「次に、葉っぱを浮かべる」のように、実験の手順を順序立てて覚えられるようにする。
- ・ 観察や実験の結果を「溶けた」「浮いた」「沈んだ」「変化した」など、具体的な言葉で表現できるようにする。

## ☑因果関係の理解と表現

- 「太陽が出てきたから、明るくなった」「水が温まったから、泡が出た」のように、原因と結果を「だから」「すると」のような表現方法を用いて説明できるようにする。
- 「どうしてこうなったんだろう？」と問い掛けることで、児童生徒が考えたことを言葉で表現する機会をつくる。

## ☑言葉で記録する力を身に付ける

- 観察したことや実験の結果を絵や写真に加え、言葉やキーワードでも記録する。

## 「社会」における言語能力の育成

☑社会の場所や役割の名称を理解する。

- 「交番」「郵便局」「病院」「消防署」など、公共施設や場所の名称と、そこで働く人々の役割などを理解する。

※ 「警察官」「駅員さん」「お店の人」など、職業の名称とその仕事内容を結び付けて言葉を覚える。

## ☑️地図やグラフの読み取りと言語化

- 簡単な地図記号や身近な場所の地図を見て、「あそこには〇〇がある」というように、位置関係や情報を言葉で表現できるようにする。

## ☑️社会のルールや出来事の実理解

- 「信号を守る」「ゴミを分別する」など、社会のルールや約束事を具体的な行動と結び付けて理解できるようにする。
- 「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」を言葉で表現できるようにする。

# すべて共通した言語能力の育成

## ☑視覚支援

### ☑具体物や実体験との結び付け

- ・ 抽象的な概念ではなく、具体物や直接的な体験を通して言葉を習得できるようにする。

### ☑スモールステップと繰り返し

- ・ 一度に多くの言葉や複雑な概念の習得は困難であり、様々な場面に振り分け、繰り返し呈示したり、使用したりことで定着を図る。

## ☑️ ポジティブなフィードバック

- ・ 児童生徒が言葉を用いたり、理解しようとしたりする小さな努力を具体的に認め、褒めることで、児童生徒の言語活動への意欲を高める。

## ☑️ 対話的なコミュニケーションの重視

- ・ 積極的に児童生徒に語り掛けたり、質問したりし、対話を通して言葉を引き出すようにする。
- ・ 児童生徒同士が、活動を通して言葉を交わす機会を多くつくる。